大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

昭和九年十一月二十六日 新京日日新聞 (月曜日) 第四千二百五十四號 (一)

新京日日新聞

夕刊 十一月二十五日

本紙 一部五錢 一ヶ月一圓 定價 郵税 一ヶ月十五錢 廣告 普通一行 一圓三十錢 料金 特別 同 二圓五十錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話三二二五・三三〇〇

發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越內之介

極東問題の討議 外務當局斷乎一蹴

豫備會談の當初になした 諒解事項に反す

【東京國通】豫備會談で極東政治問題討議の形勢に對し外務當局は豫備會談の當初に爲した諒解事項に關するものとして拒絶の方針で英米の口實を左の通り一蹴した

一、極東の新事態と極東に於ける日本の地位は列國の自發的に承認すべきもので國際會議の題目としては不可である

一、極東に於る日本の行動と滿洲國の獨立とは今日誰も認むるところで滿洲國の存在を無視する滿洲國に關係の問題討議計畫は友邦として絶對反對である

一、極東の新事態を受入れるための從來の政策修正に對しては好意を有するも右は個別的方式によること

日英會談における 英政府の提案

【ロンドン廿四日發國通】英國政府は日英會談に於て左の五項を暫定協定案として日本に提議したと傳へられて居る

一、艦型及び搭載砲口徑制限

一、建艦競爭の危險を減ずるため各國は關係國に建艦計畫を毎年通牒する

一、各國は華府條約十九條の太平洋における要塞地帶と海軍根據地防備制限條項に同意

一、各國は口徑六吋砲を越える大砲を積載する商船を建造せぬに同意

一、軍艦購入と賣却禁止

右に對し日本側は第一項を拒絶したイギリスは第一項より第三項までを既にアメリカへ提示し四項五項も近くアメリカ代表に提案するものと期待される

軍備縮少に就き 齋藤大使演說

【フィラデルフィア廿三日發國通】齋藤駐米大使は米國政治社會館に於て一場の演說を試み海軍力を大縮減するに同意する旨力說し左の如く語つた

日本の華府條約廢棄はロンドン豫備交渉の經過如何に拘はらず行はれるもので、日本人としては比率主義に依らぬ一層合理的な新方式を企圖するものである、現有勢力の徹底的縮減を希望し戰艦、航空艦全廢、八吋砲巡洋艦一部廢棄の用意がある、一方遺憾ながら英米は如何なる條件でも此の高價なる武器の廢止に賛成しない様であるが、結局軍備は關係各國相互適當な條件で協定出來ぬが、米國は遠洋渡航の作戰の必要上大艦を必要とするとの議論を聞くが之は海軍が領土、近海の保護のみを目的とする場合には適用しない

石油卸賣人申請 十二月十日迄

去る十四日滿洲國石油專賣法佈告せられ、專賣公署は現に滿洲に於て石油類販賣を業とする者の中より申請に基いて石油卸賣人を指定するが、右希望者は來る十二月十日迄に所定の申請書に左の記入をなして專賣公署々長宛申込みが必要である

一、國籍二、原籍三、現住所（法人又は代表者）四營業所の位置五、商號六、氏名（法人又は代表者）七生年月日又は設立年月日八資本金額九、營業の種類十石油營業開始月日十一、從來取扱ひたる石油類の購入先及その關係（イ）購入先店舖（ロ）購入先氏名又は名稱（ハ）購入先との關係十二、注文したる石油類の發送地及其の運送經路（イ）發送地（ロ）運送經路十三、石油類購入代金に關する事項（代金は十五日拂等記入の事、尚將來は現金拂にて購入し得るや否やを記入する事）十四、從來注文先に提供に係る擔保及擔保に關する必要事項（イ）擔保提供先住所氏名又は商號（ロ）擔保の種類（ハ）擔保金額（ニ）擔保に關する必要事項十五、現有の支店出張所代理店及復代理店又は特約店（イ）支店所在地及名稱（ロ）出張所所在地及名稱（ハ）代理店所在地及名稱（ニ）復代理店所在地及名稱（ホ）特約店所在地及名稱十六、石油類の販賣數量及現在の卸賣價格（自大同二年十一月より康德元年十月末に至る）（イ）區分—揮發油、燈油、輕油、重油ベンゾール、代用燃料油機械油其他合計（ロ）數量（何れも箱數を以て表示する事但し箱數により難きときは噸又はガロンで表示すること）（ハ）現在の一箱當卸賣價格（價格は何れも國幣又は金票により單價を明記する事例へば箱當り噸當りといふが如し）十七、從來一回に注文する石油類の種別數量、但し時期により差異あるときはその狀況（イ）一回に注文する石油類の種別數量（一回注文揮發油及燈油各一車輕油何箱と言ふが如く）（ロ）時期による差異の狀況（從來の體驗によりその消長を概記する事）

用紙は美濃形罫紙とす

尚不明の點ある時は各地方稅捐局並に專賣公署分署に就き詳細問合せるを便宜とされてゐる

臨議提出の 豫算總額年度割內譯

【東京國通】臨時議會に提出される災害豫算其他の總額年度割並に各省の九年度分は左の如く廿四日の閣議で正式に決定した（單位千圓）

△災害關係の分

△總額年度分內譯

九年度	七〇、三五〇
十年度	六四、四七〇
十一年度以降	七四、八四〇

△各省九年度分內譯

內務省	三八、六一〇
大藏省	九二〇
陸軍省	三、五〇〇
司法省	二六〇
文部省	二、一三〇
農林省	二四、〇二〇
商工省	二二五
遞信省	九〇〇

△災害關係以外の豫算（主として在滿機構改善東北賑災及び公債利子に關するもの）

總計	四、二六〇
九年度	三〇〇
十年度	一三〇
十一年度以降	三、八三〇

△九年度分各省內譯

外務省	一八〇
大藏省	一二〇

尚災害豫算及び其他を合計せる臨時議會提出の追加豫算概算は左の如くである

總計	二一三、九二〇
九年度	七〇、六六〇
十年度	六八、三一〇
十一年度	七、四九五

而して右の中に十一年度以降の公債利子を含まず又十一年度以降の金額に就いては十一年度の金額のみを掲げた

政民聯繫第二回 交渉委員會

【東京國通】政民聯繫交渉委員久原、山本（条）賴母木、富田の四氏は二十四日午後二時工業クラブに第二回の會合を爲し賴母木富田兩氏は政友の申出は黨機關に諮り贊成決定と同意を回答した後今後の實行方法を協議の結果覺書の腹案を作成、政民それぞれ總務會、幹部會へ諮り成可く二十六日の議員總會で承認を得たい、承認を得たら臨時議會中に兩黨議員全體の懇親會を開催すると申合せて午後四時散會した、覺書主旨は非常時に際し政民相携へ國策樹立擧國一致國難打開といふにある

臨時議會 首相施政演說の內容

【東京國通】廿四日の閣議で決定した岡田首相の臨時議會劈頭に於て爲す施政演說の內容は大體左の如きものである

一、先づ組閣の挨拶を述べ組閣當時中外に闡明したる十大政綱の實施に努力しつつある旨を述べ尚十大政綱の內容に關しては通常議會で說明することを述べる

二、關西地方の風水害をはじめ全國各地に及ぶ各種災害の對策に要する經費並に之に關係ある法律案の審議を請ふために臨時議會を召集するに至つた經過を述べる

三、在滿機構の改革問題については改革の必要なる所以を述べ併せてその概要を述べる

四、海軍々縮會議に臨む帝國政府の態度並に方針につき不脅威不侵略の國是に基いて善處する旨を述べる

等であつて岡田首相は來る廿六日宮中の御都合を伺ひ奉つた上で 天皇陛下に拜謁仰付けられ演說內容を上奏する筈である、尚藤井藏相の財政方針に關する演說草案は廿四日の閣議で決定を見なかつたが廿六日の臨時閣議又は廿七日の定例閣議で決定の筈

インフレ豫想で 諸株一齊に奔騰す

金より物への時代再現か

【東京國通】增稅に强硬な反對態度を示した東株では豫算閣議の無事終了と未曾有のインフレーションが豫想されるため買物殺到諸株奔騰長期では紡績人絹三、四圓高、軍需物では造船株が二、三圓高、東株が五圓二十錢、新東は六圓三十錢高を示した

中銀週報

自康德元年十一月十一日至同十一月十七日

貨幣發行額	一四一、三三九、〇八〇
紙幣準備	三六、四七、八二三
保證	五八、二一八、九九二
鑄幣	二七、七〇七、二三〇

十月中の 綿布輸出高

【東京國通】紡績聯合會調査—十月中の綿布輸出高は合計二億八百八十八萬平方碼四千三百七十四萬三千圓で前月に比し三千三百四十五萬平方碼九百四十五萬八千圓いづれも增額し前月關西風害で激減したのを充分補つた

奉天省公署の

本年度建設事業成績概要

【奉天國通】滿洲國建國後都市計畫、道路計畫、河川修築等の建設事業は加速度的に業績を擧げつつあり、特に康德元年度に於ては掃匪と治安の收績に伴つて一大躍進をなしつつあつたが奉天省に於ける省公署建設下の本年度事業成績概要左の如し

一、河川堤防の改修

新民縣饒河一二、四二九米、蓋平縣熊嶽河六六四米、鎭東縣兆河九、四九一米、兆南縣兆交河一五、九四二米、鐵嶺縣遼河一、一八七米遼中縣渾太遼河各河川六六八米、臺安縣柳琿域河三一、一八七米、通遼縣清遼河六五五八米、兆安縣兆河一一七五六米、安廣縣兆河一一七四二米、錦縣小凌女兒河二、一三〇米、安東縣鴨綠江三、〇〇〇米

二、縣道修築

奉天—遼中間七二粁、奉天—法庫間七四粁、昌圖—昌圖驛間五粁、海城—盤山間七八粁臺安—打虎山間四十粁、凌源—双山間四九粁、蓋平大平川—營口間七粁、盤山—上河街二五粁、黑山—打虎山間二、五粁

三、都市道路の完成

奉天市	七ヶ所
營口	二ヶ所
安東	一ヶ所
綏中	一ヶ所
西安	一ヶ所
蓋平	一ヶ所

四、山海關都市計畫面積一、六八三、〇〇〇坪、事業費三八一、七〇〇圓

五、兆安都市計畫面積三三平方粁、事業費一八五、八〇〇圓

國都建設の心臟部 小河台石山を觀る（中）

金久保生

南關から東の方へ走つてゐるこの程完成された吉林國道を自動車で十分も飛ばすと伊通國道との交叉點に出る、その伊通國道を和順鄉（都市計畫で土地を買收された土民が建設局から貰つた土地でつくつた部落）を右に見ながら十分も走つてから腰站貯水池建設用の材料運搬專用道路にはいると東南に山のない國滿洲にも小高い遠山が見える、小河台石山はその

あがるのが見える、新京から自動車で半時間、もう小河台石山の麓についてしまふ、山の入口に大同二年五月一日に建立した開山記念碑が建てられてあつて、石山は眼の前だ米國大統領のホアイト、ハウスを想はせるやうな白堊の鑛山事務所がクッキリと石山と石山の盆地に浮んでゐる、事務所の周圍は嚴重に鐵條網がめぐらされて、こゝにも匪害が想像される、事務所の人の話を聽くと

南端の山だ

此處まで來るとドーンドーンとダイナマイトの爆音がしてその度に山から煙りが

一昨夜山頂から突然銃聲がしましたので、九人の事務員が直にブローニングを手にして銃眼から身がまへしましたが、幸に十數發ぶつ放した匪賊は姿を消してしまひました、何しろ給料日を知つてゐるんですから堪りません、その頃になると襲つて來るんです、それに苦力は給料を貰ふと妻子のある奴をぬかして皆んな女買ひに行つてしまふんですから心細くなりますね、全く命懸けですよ、でもこれをやらなきや新京の都が出來上らないんですから仕方がないんですよ

と語る、こゝにも隱れた建設の功勞者がゐるんだ、事務所の前に給水タンクを中心に二十棟ほどの支那家屋が整然と

並んでゐる

この中に千百人の苦力とその家族の生活が展げられてゐるのである、成程軒下にシャツや支那服の洗濯物が干してある、妻君のある支那人と着物を洗ふほどの苦力なら割合に高級の方だと來滿當時聞かされたが、千人の中に妻君のある苦力が五十人もゐるといふんだから、相當な苦力もゐるらしい、こゝの苦力は總體に上等の方で、彼等自身も道路工事などに働く苦力と一緒に考へてないとのことだ、彼等は職人といつた積りで自分達を石工と呼んでゐる、江戶つ子のやうに宵越しの金は使はないといつた調子で給料日の晩は皆んな街へ出て使つてしまふ、だから春來て秋歸る雁（カリ）のやうな山東邊の出稼ぎ苦力と違つて彼等は一年中歸らない、滿洲で稼いで滿洲で使つて了ふ、いはば純滿洲苦力、でない石工である

（寫眞は冬期中の採鑛場作業場）

人事往來

▲山田正氏（滿鐵社員）二十五日來京國都ホテル投宿
▲內田正剛氏（同）同上
▲沖野福次郞氏（鐵路總局員）同上
▲本田儀助氏（滿鐵社員）同上
▲小住壽藏氏（滿洲鑛業社員）同上
▲刑士康氏（奉天中央訓練所長）二十三日午後二時五十分發吉林へ
▲御厨信市氏（關東廳外事課長）二十三日午後八時發旅順へ
▲杉村正氏（關東廳稅務課長）同上
▲飯谷希一氏（總務廳次長）二十三日午後九時寬城子から
▲呂榮寰氏（ハルビン特別市長）二十四日午前九時二十分發哈市へ
▲孫其昌氏（黑龍江省長）同上
▲洪維國氏（財政部次長）二十四日午前十時發奉天へ
▲岩堀一郞氏（橫濱正金銀行新京支店支配人代理）同上大阪へ
▲二宮少佐（明倫會主事、日滿協會常任理事）二十五日午前十時發東京へ
▲洪維國氏（財政部次長）二十四日午前十時發奉天へ
▲伊藤大佐（海軍省）二十四日午後零時發大連へ
▲寺崎英雄氏（監察院審計部長）二十四日午後三時着ハルビンから
▲劉夢庚氏（熱河省長）二十四日午前九時發熱河へ
▲山成喬六氏（中央銀行副總裁）二十四日午後四時發東京へ
▲赤澤辰三郞氏（濱江省警務廳長）二十四日午後八時發ハルビンへ
▲ゴーマン氏（駐大連デリーニュース紙記者）二十四日午後八時發大連へ
▲橋本傳左衞門氏（京都帝國大學教授）二十四日午後五時三十分着大連から大和ホテル投宿
▲加藤完治氏（同上）同上
▲松川五郞氏（宮城縣教員）二十四日午後四時着奉天から大和ホテル投宿
▲金子秀三氏（大毎駐大連支局長）二十五日午前十時發大連へ
▲石川熊一郞氏（間島臨時〇〇隊琿春〇〇隊長）二十四日午後二時着琿春から名古屋ホテル投宿二十五日午前十時發奉天へ
▲德永保氏（會社員）二十四日午後六時四十分着奉天から名古屋ホテル投宿
▲富永忠恭氏（會社員）二十四日午後八時發鞍山へ
▲染谷保藏氏（錦京時報社長、本社代表）二十六日來京の豫定

本紙購讀御申込みは 三三〇〇番へ

最後の切札八枚

■■女八人感激時代(四)

（（禁上映上演轉載））

（合作）

柳 咲子……峯 吟子 大林梅子……若水絹子 澤 蘭子……夏川靜江 木下双葉……飯田蝶子

（挿畫 大附彥丈畫）

＝戀愛遊戲＝ 澤蘭子作

15……笑ひの交換（二）

お互に銀座あたりで見かける顏ぶれですが、一同は妙に羞しい空氣をつくつてしまつて、ともすると話の途切れるのも構はず、美保子はひとり胸をふくらますやうにして、ストローを吸つてゐました。

そのうちに、徐々シートノックの初まる頃になつたのです。

すると、美保子の立上つたのを合圖に、學生達も立上つてゐました。ゾロゾロと步いて行く彼等の前を、美保子は、まるでクインのやうに通路を上つてゐました。

すると、

「ミホコ！」

と呼ぶ甲高い聲が、上のはうから響いてきたのです。

夕陽のかげが地上に長く引いてゐます。野球場は、いまや鼎の沸くやうに群集を、雪崩のやうに吐き出してゐるのです。試合が終つたのでした。

青山の大通りには、兩側の商店からあかるい灯がながれはじめてゐます。歸路につく人々達がまるでメーデーのやうな行列をつくつて黑くつゞいてゐる。そして試合の批評やエピソードを話あふ聲が、そこにもこゝにも見られました。

この人混みで、うつかり逢一にはぐれた美保子は、仕方なしに停留場に近い方へ步いて行きました。

すると、

「さつきは失禮！」

と、だしぬけに、背後から聲をかけた者があつたのです。美保子は、呆然、ほかのことを考へてゐたし、それに人混みの中でしたから、まさか自分ではないと思つてゐると、

「美保子さん！」

と、今度は、濁ぶ聲が呼ぶ。美保子が、振返つた時、さつきの學生達三人が、ゾロゾロと後方から跟いてきてゐたのです

「お歸りになるんですか」

菅野といふのが云ふ。

「えゝ」

美保子は、輕くから云つて、立止まつたのです。

「諸君は？」

「人混みの中で、はぐれちやいましたのよ」

と、美保子は、つまらなさうに三人のほうを見て、言つた。

すると、

「どうです？ 一緖ひませんか……」

晴枝とかほるの他に、クラスメートの二三人が手をあげて招くやうに、美保子を呼んでゐたのです。晴枝の着てゐる紺紅色の華美なドレスが、カツと陽に映えて、やけに目立つて見えました。

「……？」

美保子は、無言の微笑みをおくつて、自分の席へ入つて行きました。

シート・ノックから試合への緊張の眞只中にあつたのです。

間もなく試合開始のサイレンの響きとゝもに、數萬の觀衆はその眼を一球に集める。ナインの鮮かなプレーが、一回から二回三回へと觀衆を醉はせる。

三——一から四——六へと立敎がリードしたが、八回の裏、七——六と逆轉されてしまつた完全に慶の勝利—美保子は、サイレンの響と共に立上つて、咽喉のかれるほど叫んでゐたの

チンピラ十二名の窃盗萬引團捕はる
十六才から十才位朝鮮人少年　リレー式の巧妙さ

十六歳の少年が主謀者となり十歳までのルンペン少年、普通學校兒童等十二名で窃盗萬引團を組織し金泰、赤木、森晋の各洋行に

＝客に＝まぎれて侵入し店員の目を盗み學用品をリレー式に盗み出し良家の兒童に賣付け又は各家庭に侵入し家人の隙に乗じ二三個の現金窃盗を働き稼いだ金は活動寫眞見物、冷麵店等で消費してゐるを新京署金刑事が探知し捜査の結果二十四日梅ヶ枝町三丁目崔大川（一六）―假名―外一名を検擧した、取調べたところ兩人は不良少年で普通學校を退校になりその後附近の少年を集め本年三月ごろから窃盗、萬引團を組織し贓品處分方法として普通學校兒童を

＝六名＝誘ひ入れ萬引學用品をこれ等六名の手で良家の兒童に賣付けてゐたことが判明した、被害は百件、現金四十圓である

全く困つた事
普通學校當局者談

者に就き普通學校では語る

警察の方からなんの通知にも接してゐませんが數日前噂を聞き込んだことがあるので當校として關係者を調べてゐましたが多數の兒童のため關係者を突き止めることが出來なかつたが全くこまつたことで判明次第なんらかの處置をとることになるでせう

朝鮮人居留民會
評議員選擧
正午まで僅か十五票

新京朝鮮人居留民會の評議員選擧は二十五日午前十時から普通學校講堂で擧行されたが投票者は殆んどなく正午まで僅か十五名の投票があつたのみで監督官として臨席の總領事館員杜氣板の有様で會場には役員のみがたゞ堅くなつてゐた

間島農村の食糧難
成行憂慮さる

【龍井國通】本年度に於ける間島地方の農產物の大凶作は二十年來と稱せられ殊に奥地の百草溝、銅佛寺方面には既に現在食ふ物がないと言ふ有様で成行は頗る重視されて居るが、第三次（霜降）農產物收穫豫想を基礎としてこれが間島農民に與へる影響を數字的に示せば大體次の如くである、間島地方の人口は大約五十四萬人程度で主要食糧品は粟その他の雜穀であつて輸出品は大豆その他の豆類のみである、粟の本年度收穫豫想は二九七、五四八石であつて、本年度播種種子及び住民の糧食としての必要量は合計五十四萬石と推定せられ、差引二五四、四五二石の不足を示して居る、その他玉蜀黍、蕎麥、陸稻いづれも所要量に達せず全體を通じての不足農產物は五二四、一八六石と推定され、これが現金換算高は一、四四二、二三〇圓に達する、唯一の輸出品である大豆を始めとする豆類の賣價は三、一五九、一三六圓程度と推定され、これに對して現金所要見込は三、五二〇、〇〇〇圓に達する、その細目は

一、豆類販賣價格

大豆	二、九九一、一三六（圓）
小豆	五八、八〇〇
綠豆	一〇九、二〇〇
計	三、一五九、一三六

二、現金所要見込額

金融部償還金	八五〇、〇〇〇
東拓償還金	四〇〇、〇〇〇
教育費	二〇、〇〇〇
諸公課負擔額	一、二五〇、〇〇〇
負債償還見込額	一、〇〇〇、〇〇〇
計	三、五二〇、〇〇〇

三、差引不足額　三六〇、八六四
四、不足糧食現金換算高　一、四四二、二三〇
五、總不足額　一、八〇三、〇九四

以上の數字は小作料及び地主の貯數等は考慮外にして推算されて居るもので此等を考慮に入れる時の不足食糧は五十萬石、現金にして五百萬石以上に達する見込で農村の食糧難は益々深化するものと見られ成行頗る憂慮されて居る

高女のバザー
大盛況

新京高等女學校のバザーは二十五日午前十時から催されたが日曜と滿洲晴れの好天に惠まれ子供づれのお母さんや姉妹が續々と會場に詰めかけ午前中入場者はざつと千名を突破第一、第二、第三、第四室の手藝品は飛ぶやうに賣れ『落第はしたけれど』その他ユーモラスな活動寫眞を上映してゐる映畫室は大入滿員の盛況ぶり、最後の食堂には簡易な晝食、休憩これ亦大滿員で午後三時盛會裡に閉場した

朝鮮冷麵店で暴行の末殺す
朝鮮人同志の喧嘩

二十四日午前零時三十分ごろ朝日通四十九番地朝鮮冷麵店慶尚屋で慶尚北道生れ梅ヶ枝町三丁目二十六番地居住申敍岩（二二）、平安北道生れ同上崔仲林（二〇）の兩名が泥醉し同家から立去らんとし戸口に出た際同家滿人ボーイ王に對し惡口をついてゐる際入れかはりにやつて來た曙町三丁目吉源精米所職人李圭哲（三一）が開き前記兩名に注意をしたことに端を發し、大立廻りを演じ中、雙共力で李を散々毆打し下腹部を蹴り重傷を負はし逃走したが李は直に大乘醫院にかつぎ込まれ應急手當を加へたが同日午後五時十分死亡した届出に接し新京署から倉田司法主任現場に急行檢證を行ふとゝもに犯人二名を檢擧し取調べ中である

新京日記

滿鐵の歌レコード吹込み

滿鐵社員會では滿鐵の歌レコードが絶版となつてゐたのを今度テナー奥田良三氏によつて日本ポリドール會社に吹込ましめることになり、一般社員から豫約募集中だが募集枚數二千枚限り、一枚一圓見當來る十日まで各箇所で取纏め申込むことになつてゐる

エスヤ洋服店　豐樂路に新店

洋服店の老舗新京銀座のエスヤは豫て新京特別市豐樂路四一二號康德ビルの南西に入つた處に新築中の店舗が落成引移つたが同所を本店に、從來の吉野町の店を支店に、斯界に更に一大飛躍を爲さんとしてゐる、新年用の燕尾モーニングは勿論、男女服、外套、オーバ等を新築落成記念に特別値で提供する、貸間は例によつて豐富に在荷してゐる、本店電話五八五〇番支店は二六一九番であると

カフエー日輪

もとカフエー「口紅」を讓りうけた松木靜三氏はホールの模様がへとゝもに新進の女給を揃へて屋號も「日輪」と改名して二十五日から開業、メイヤ街カフエー界に一大飛躍を目ざしてゐる、二十四日午後七時から關係者を招待開業披露した

滿洲國第二次關稅改正について
源田稅務司長放送要旨

滿洲國財政部稅務司長源田松三氏は廿五日午前十一時五十分新京放送局より「滿洲國第二次關稅改正に就て」と題しラヂオ放送を行つたがその要旨左の如くである

根本方針

財政部は第一次改正に際して聲明せる如く關稅制度の一般的根本的改正を兩三年後に行ふ意圖の下に調査研究を進めて來たが其後一年間に貿易の情勢著しく變化し他面國内政策も漸次具體化されることとなり之等内外の經濟事情が關稅率の改訂を根本的改正迄遷延を許さない情勢に立至つたので滿洲國は今回第二次暫定改正を斷行し更に之に伴ふ關稅制度並内國稅制度の不合理と認めらる點の改正を行つた即ち關稅率に就ては輸入稅率に於て百十八品目、輸出稅率に於て廿三品目の改正を實行したが改正の方針を左の五つに分けた

第一　貨幣價値並に貿易品價格變動の結果、從量從價兩稅率課稅品間に著しく負擔の不權衡を生じたものに付出來るだけ是正を圖つた、この方針に基いて改正した主な品目は綿糸布類であるが、從來輸入綿布稅率は從價從量兩稅率の權衡を失せるものあつた爲め、この間隙に乘じ從價稅率の適用を受けんとし大同布その他の變則的新製品の大量輸入を見るに至り、關稅負擔の公正が紊れたばかりでなく十萬人の從業者を擁する國内既存の家内工業が深刻な打擊を受けた依つて吾々は之等の事に考慮を拂ひ從量稅率を相當引下げ從價稅率を若干引上げて合理化を圖つた

第二　財政關稅の本質に合致させるため稅率の引下げを斷行した、之により改正せる品目は食卓鹽詰及び罐詰、果實、淸酒、扇、傘、ゴム靴及び綿製ゴム底靴、新聞印刷用紙、絹織物、絹綿交織、糯子、鮑、乾魚、長切昆布、琺瑯鐵器、嵩叺等である

第三　産業政策に適應せしむる目的で稅率の新設又は改正を行つた、その第一は小麥及び小麥粉輸入稅の新設で理由は從前滿洲國は之等を重要輸出品として國外に輸出して居たが小麥作、製粉及び關稅に對し何等の對策も樹てなかつた爲め外來小麥粉の輸入に壓倒され製粉工場は萎縮し、他面農業は大豆、高粱等のみの單一經營の危險に曝されるに至つたので一部小麥作への轉換と消費者の負擔を少くする爲に企圖したのである、右の外自動車及び同部分品酒精屑黄麻、屑鐵等の稅率を製品に付引上げ部分品に付引下げ之等の製造又は原料輸入に便益を與へ斯業の助長を圖つた、又栽培用種子苗木及び接木農具等の輸入稅を無稅としたのも農村の振興を圖る趣旨に出たものである、輸出稅率に於て改正せる二十三品目も同一趣旨に出たもので木材、石炭牛肉等の輸出稅の廢止又は輕減はその顯著なるものである

第四　輸入物品に對しては内國消費稅を課せざる原則を樹て之に關聯して消費稅としての關稅率の是正を行つた、即ち統稅物件たるセメント、卷煙草、綿糸及酒稅物件たる酒類、鹽稅物件たる苦汁及硫酸ソーダ等に改正を加へたのはこの方針に基くものである

第五　技術的な問題であるが品目分類の合理化を圖つたこの方針に基き改正した品目はミネラルターペンテイン、傘及び或種の布帛等である、關稅率に關する改正の要領は大體以上の通りであるが次で關稅制度改正の要點を擧げると松花江に於ける關稅の徴收、松花江運洋貨に對する納稅濟證（オリヂナルパス）の廢止並に賑災附加稅法の制定である、前二者の廢止による減收は約百四十萬圓であるが政府では之に依つて松花江、黒龍江流域に於ける經濟活動の圓滑なる發展を企圖し又後者の新設に依つて從前の救濟附加稅條例を廢止した之は今回綿糸布類稅率の全般的是正の結果從來の免稅品と課稅品目が混合して區別し得ざるため、綿糸布類に對しては附加稅の一部を本稅に織込み附加稅は別に課せざることゝする必要上形式的整備を圖つたものである、以上の外關稅改正に關聯して輸入物品に對しては内國消費稅を課せざることを別に勅令を以て定め又輸入鹽魚等に對しては鹽稅補徴稅を廢止する事を定め此の方針を一貫した而して國内生產品殊に附屬地生產品の搬出に際し脫稅取締りの必要上輸入稅を附加せる統稅課稅物件及酒類に諭誌證の貼付を要求することとした尚本改正は廿六日から實施するが廿五日迄に稅關所在地に到着し且つ同日迄に申告された貨物に對しては從前の稅率を適用し、又小包郵便物に對しては通關郵便局より稅關に提出する小包郵便物報告書面の日付印により新舊稅則の適用を區別する事となつてゐる最後に附言したいのは政府は本改正に依つて何等の增收を豫想してゐないことだ、小麥粉の新稅創設によつて約三、四百萬圓の收入があるが之は擧げて仙品目の稅率輕減及松花江に於ける負擔の廢止に充當した、要するに吾々は今回の改正が内は消費者の負擔輕減と滿地產業の助長の一助となり外は優良外國品の輸入の促進に資するところ尠なからぬものあるべきを期待するものである

ペスト騒ぎのお蔭で
傳染病は激減
發生も死亡も去年の半分

今年はペスト騒ぎがあつた代りに赤痢、腸チブスその他の各種傳染病が至つて少かつたそれは傳染病の流行期にペスト防疫で當局も必死の努力を傾倒し、また各自お互に萬全の注意をしたことが覿面に現れたものであらうと關係當局者は見てゐるが、その理由としてはペスト騒ぎ中は殆ど傳染病の發生が休止された狀態になつたのに見ても證據立てられやうといつてゐる、即ち本年四月いらい今日までの新京附屬地に於ける傳染病發生數を見ると累計三百三十五名うち死亡三十一名で昨年の十一月末累計五百八十一名、うち死亡六十五名に比較すると約半數に過ぎない好成績である、なほ二十四日現在の傳染病患者は左の通りで附屬地内僅かに十八名、附屬地外を合しても二十三名といふ少數で大房身の傳染病棟は連日から空きの閑散振りである

	附屬地内	附屬地外
赤痢	四	一
腸チフス	六	二
猩紅熱	七	一
ヂフテリヤ	一	一
計	一八	五

スケートを志す
初心者の爲に（四）

大滿洲帝國體育聯盟理事　奥　勝久

次ぎに第三の二人組氷滑は二人が共同し乍ら描型氷滑をするのでありまして例へば二人が手を組んで滑つたり、或は離れて滑つたり、種々あるのですが要は常に二人が一体となつて滑る描型氷滑なのであります

第四の競速氷滑は第三の二人組氷滑より人數を多くしたもので第三第四のスケーテイングは現在滿洲に於ては學校以外一般的には行はれて居りません、第二、第三即ち描型氷滑と二人組氷滑は他の大底のスポーツに見る樣な若者の獨占でないのであります、體力とか技術が運び過ぎた爲興味を失つて了ふものと趣が違つて居りまして、相手を求めて行ふものでない上に若い者と一緒になつて滑ることも出來又どの程度迄描型を會得しなければ興味がないと云ふものでなく、片足で曲滑が出來れば描型氷滑の立派な仲間入りが出來ますし、今日のスポーツが兎角若い者の獨擅の樣な觀があり中年後はファンとして手を拍く位が關の山であるに反して描型氷滑になりますと全く同等であるのは甚だ愉快と思ふのであります

三、スケートの選び方に付て

次ぎにどんなスケートを選ばねばならぬかと云ふ事ですが前に言つた樣に自分の體力とか或は趣味に應じてスケーティングの種類を選べば良いわけで從つて之れに依りスケートも定まるわけであるがスケートは描型氷滑用、ホッケー用、競速氷滑用の三種類に分れますから任意に選擇すればよいと思ひますが大体此の三種類のスケートについて説明しますと第一の描型氷滑に用ひられるスケートは平常穿いて居る靴に取付けて滑る樣になつて居るのがあります、之は靴の裏に座金が付いて居りネジで何時でも取外しが出來る簡便になつてゐます、然しこれは今日殆んど使用されて居りません、此の式のスケートは靴が非常に破損するのと何處か緩い所があつて靴と足が密着せずスケーテイングをして居る場合ぐらぐらして至つて不安定である上に往々氷上でスケートが脫けたりして不愉快であり亦少し滑れる樣になると飽きが來て良いものが欲しくなりますから經濟的でも有りません若し此の座金式スケートを平常靴に取付けるならば必ず編上靴で足にぴつたりするもので靴の踵は革であること、ゴムの踵でない事等は絶對必要でありますが更に角此式は餘り工合の良いものでない事を一言して置きます、何と言つても爪先は爪先、踵は踵で靴の裏にネヂ釘で止めたのを使用する方が賢明です現在描型のスケートは日本製でも外國製に劣らぬ立派なものが有りますが然し何と云つても現在では獨乙製或はスエーデン製のものに立派なものが多い樣です、日本製のもので四圓位から九圓迄、獨乙製で十四圓内外から五十圓迄有ります、一寸考へれば鐵でさへあれば氷の上を滑るのだから鐵の質が惡くても滑るのに大して相違はないと考へられますが決してそうでありません、値段の安いスケートは鐵の質が粗で軟いのに反して値段の高いのになると鐵に鋼が這入つてゐまして質は固くてきめが細かく此の兩者を比較しますと滑り工合に格段の差があります、赤スケートは一度買ひ求めれば滿洲の樣な處では何年でも使用出來ますから初めから比較的良いスケートを選ぶ方が賢明だと思ひます、スケートで一番大切な所は滑走する部分の刃面でありますから、スケートを買ふ時は刃に傷のないもの、刃の處に錆のないもの、刃身と靴の乘る個所との附け際にヒビの入つてないもの刃面の中間に縦に溝のあるものが宜しい、この溝がないと横辷りしてよくないのであります、買ふ場合一番注意しなければならぬ事はホッケー用のスケートと描型氷滑用スケートを混同して買ふ事があります、ホッケー用は滑る部分が一直線になつて居り、描型は刃身の全体が弓形になつて居ります、次ぎに第二の競速氷滑のスケートは描型式と違ひ刃身が非常に薄く靴の長さよりずつと長く一直線であり、刃面が非常に薄くこれは早く滑走する目的であるから從つて一直線の長い部分で氷を蹴り得る樣になつて居ります、又此の一直線になつて居る部分で一番大切な全體重がかゝるからぐら付かず安定に滑走が出來ます、又スケートの重量を輕くするため刃身の鋼鐵以外はアルミニユームの圓筒で拵へて居ます此のスケートは刃身が極めて薄い鋼鐵になつて居ますから往々横に反つてゐる事がありますので買ふ時は余程注意せねばなりません、其他注意する事は刃面に傷の無いもの錆のないもの及其他の事は描型スケートと何の變りもないのであります、然し初心者が始めから此のスケートで練習するのは余り感心しません、やはり描型スケートで相當に曲線が滑れる樣になつてから競速氷滑用のスケートを着けて練習すれば上達の上に格段の差がある事を言つて置きますこのスケートの價格は大体日本製で三圓三十錢から六圓迄獨乙製では十八圓内外から二十五、六圓位です

營口海邊警察隊機
不時着大破

【營口國通】廿四日午前十時頃飛行中の營口海邊警察隊飛行機は營口郊外牛家屯上空でエンヂンに故障を起し附近の葦原地帶に不時着した、其際機體は木葉微塵に大破したが搭乘の渡邊橋本兩氏は擦過傷を受けたのみであつた

拉賓沿線の匪團
若山○團に歸順申込み

【ハルビン國通】若山○團の秋期大討伐により吉林省東北地區拉賓沿線の匪團はその根據地を潰滅され衣食に窮し歸順を申出るもの續出して居るが拉賓五常を中心に猖獗を逞ふし追擊砲四、機關銃十、小銃二千挺を所有する鐵林、傷江南、泰平双勝各匪首の率ゆる匪團約三千三百名は二十三日午後五常東南方五十キロの地點神河鎭に在る近久安太郎氏及び拉林日本居留民會々長辻唐太郎兩氏を通じ若山○團に歸順を申込んで來た、若山○團では右申込みに對し善處すべく目下愼重考究中である

謝文東の妻を
捕虜

【ハルビン國通】依蘭地區討伐中の若山○團麾下田村部隊は二十三日勃利北方二十滿里の地點に於て謝文東匪團と遭遇、交戰の後謝文東の妻及び孫等數名を捕虜としたが謝本人は風を喰つて逃走した

荒川貞典氏死去

新京日出町二丁目新滿社荒川衛次郎氏令息で飼峯下一郎氏の義弟、荒川貞典氏は滿鐵勤務中盲腸を患ひ久しく病臥中のところ二十四日午前二時奉天醫大附屬醫院で逝去した、享年三十五歳、遺骸は二十六日午後五時三十分着、二十七日午後四時から東本願寺で告別式を執行のはず

仙人掌

パーマスコットを覗いてごらん、覗くだけならロハの筈です、マスコットが置屋に轉業したかと吃驚りしますぞ、それもその筈島田の姐さんがウヨウヨしてゐる▲これその藝者舞子假裝サービス、女給さんの藝者早替りの珍趣とござい、馬子にも衣裳とやらで、女給さんは決して馬子ではないですぞ、これ即ち文章の綾と申すもの、どれを見ても三すじの一つもひけそうに見えますが▲「ほんとにそうなら嬉しいね」と來て安いと思つた藝者買ひもそれでワンテです▲次に假裝サービスの生んだ悲劇を二、三ご披露に及びます▲舞妓姿の京子今朝からオタイコを胸の邊りに締めくゝられて「ご飯をたべるとお腹が太つて苦しいから今日は一粒も食べないの」と可憐にもこぼしつゝ腹にタバコの煙でメマヒがするといつてゐます▲支那ピー姿の三枝子どうしてなかなか堂々たるものです硝子の首飾りにセルロイドの耳飾りが紅い灯青い灯に照り映えて、葉香蘭あたりに出しても恥かしくありません▲ところがひと度歩けばピッコです、はきつけないレデイメードのハイヒールは彼女の小さくもない足をイヂメテゐるんです▲藝者の玲子「どうも腰の周りがきつくて」と腰をなでなで歩いてゐます、假裝サービスもまた辛いかなです▲藝者は文子、玲子、かほる、幸子、靜子、絹子、舞妓が春梅と京子で支那ピーが弓子と三枝子です▲二十七日からは百態假裝サービスといふものを催すそうですが、それはまたその時、今は掲載禁止になつてゐますから

荒川貞典儀永々病氣の處十一月二十四日午前二時奉天醫科大學病院に於て死去仕候間此段午略儀以紙上生前辱知諸賢に御通知申上候

追而十一月二十七日午後四時新京東本願寺に於て告別式相營み可申候

昭和九年十一月廿五日

父　荒川衛次郎
親族　猪森千代
總代　峰下一郎
友人　箱田琢磨
總代　新田勘左衛門

近代科學兵器

航空機用のロボット正体

一フイート角の操縦装置　鋭敏な操能性能

世人の多くはロボットと云へば例の人間のやうな形をしたのが、ちやんと同乗席に座つてハンドルでも握つて飛行したもの樣に想像する向も多いやうであるが、實は一見何等奇異な外見をも存たない一呎角位の器械なのであつてそれがあの驚くべき働きをするのである、元來ロボット即ち所謂人造人間なるものは、技術語では自働操縦装置（オートマチックパイロット）といふ一種の機械であるが、米國の新聞界でロボットなどと云ふ派手な名前をつけたので俄に人氣ものとなつたのである、斯の如く人氣者のロボットは既に各國に於て、それぞれ研究されその構造に種々のものがあるが、しかし型式が何れもその正体が、ジャイロであることに變りはない、ジャイロ性即ち運動慣性は其の回轉軸を一定方向に保持しやうとする性質がある、一定の姿勢と方向を保つて飛んでゐる飛行機が何等かの原因でその狀態から離れても、ジャイロの回轉軸は依然一定の方向を指すから此の慣性を利用したものである、而して方向の異る二個のジャイロ、即ち水平ジャイロと方向ジャイロとがあつて、前者で補助翼及び昇降舵を操作させて前後左右の調子を取り、後方で方向舵を操作させて針路を一定に保つて進むのである、ジャイロの回轉は種々の加速度や遠心力等に妨害されぬやうに毎分一萬五千程度の高速度で回轉させ、その動力には蓄電池等を使用するのが普通である、それから舵を動かす爲めには油壓、壓搾空氣電力等を利用した種々の型式のものがある自働操縦装置の構造原理は大略以上の如くであるから、離陸着陸などの如き複雜な操作を要する場合には、人間操縦士の手によらなければならないが、一旦或る高度に達し姿勢及方向が決まれば、自働操縦装置に一任していつまでも其の狀態を保つて行くことが出來るのである、自働操縦装置が最も偉力を發揮する場合は深い霧や雲の中或は夜間飛行の時である、普通飛行機を操縦する場合、人間は主として視覺によつて水平線その他の地物と比較して自己の機体の姿勢を判斷するのであるから、霧や雲の中に入つて視力を奪はれると非常に困まるのである、現在では視力に頼らず各種の計器に頼つて操縦する所謂盲目飛行（これが爲め操縦席に幌を被せて外を見えないやうにする）の訓練が頻りに試みられてゐるが、コンナ場合自動操縦装置があれば、操縦士に代つて鋭敏にしかも疲れることなく操能し、ロボットの特長を發揮することが出來、其の間に操縦士は休養を取ることも出來るし、又他の重要な仕事をもなし得るのである

マークから見た飛行機の區別

世界各國の決定文字　滿洲國は『M』

軍用機には、陸軍も海軍も勇ましい日本のしるし、赤い日の丸がついて居ります、そして陸軍機には數字が入つて居ります、海軍機には數字と所屬部隊記號、館山ならば『タ』横須賀は『ヨ』といふ字が入つて居ります、陸海軍機とも國民の熱誠による獻納機には陸軍では『愛國』の二字、海軍では『報國』の二字を機体に記してあり、外に獻納者（個人並に團体）の略字が記されてあり、例へば『小布施』とか『滿洲』とか記されてあるのがそれである、ところで軍用機以外の飛行機には、ローマ字が五つづつ並んで大きく書かれてゐます、先づ初めに『J』といふ字があります、それから横に線がひかれて、次に四つのローマ字が並んでゐます最初の『J』は日本の民間飛行機にすべてつけられてある『國籍記號』といふものです、世界各國に此の記號がいろいろと分れてゐて、米國では『K』『N』『W』の三つを持ち其中の一つを使用し、英國では『G』と『M』『EI』の三つで、同じく其中の一つを使用し、フランスは『F』蘇國はRA又はRO、イタリア『I』などがあります、滿洲國では『M』をつける事になりました

世界中で一番此の記號を澤山持つてゐるのはスエーデンで十三字もあります、此國籍記號を見て飛んで來た飛行機は何處の國のものかを直に知る事が出來るのです、次に『J』の次に並んだ四字を見てどこの飛行機かを知るわけですが、それには五つのローマ字の第二字と第五字とを注意して下さい、第二字目にAの字が來てゐたならば、それは官廳の飛行機です、内務省とか遞信省とか文部省とかお役所の飛行機記號は此Aです、それから『K』は民間用飛行機につける記號で、この他に『K』も民間用につけます、『O』『D』『E』の記號が第二字目にあるのがあります、此の『O』は朝鮮、『D』は臺灣、『E』は關東州地方で使用する飛行機につける記號です、我が官廳に大藏省、内務省、遞信省など澤山ありますが、これを區別するのは第五字目です

『N』……内務省
『Z』……大藏省
『R』……陸軍省
『K』……海軍省
（この陸海軍機は軍用以外に用ふる飛行機です）
『M』……文部省

併しこれ等は記號だけで定めてあつてもまだ飛行機は殆ど持つてゐません

民間の飛行機には東京大阪間の定期飛行をしてゐる、日本航空輸送會社が『O』と『O』の二つの中一つを、大阪と四國の間を飛んでゐる日本航空研究所は『I』といふ具合に定めてあります、そして中に挾まれた二字はアルハベットを適當に組合せて全部で異つた記號として登録されてゐるのです

對米問題對策　平和手段で解決

滿洲承認と日米通商關係

駐米特命全權大使　齋藤博氏談（下）

移民問題についでは、大体識者の諒解を得てゐるやうであるから、その解決はただ時の問題と思ふのである、元來米國への＝移民＝は一九二四年迄は自由であつたのであるが、その時の紳士協約で日本の移民に制限を加へたのである、その後日本の抗議によつて、日本人の禁止は題かつたと悟つてゐる識者も大分あるから、この移民法は次第に改正せられると思ふただ米國として見れば一旦發布した法律は故なく改正するといふことは面目にも關する事である、しかし米國の識者は已に＝制限＝の宜しからぬことを悟つてゐるのであるから時を經て緩和される事で、何も劍をとつて起つといふ程の問題ではないと思ふ、海軍々縮問題については、米國にはまだ具体案なるものがない＝米國＝海軍大臣の意見發表があつたがこれはスワンソン海軍長官の云つた通り、個人の意見であつて政府としての具体案ではない、何しろ米國では大統領選擧を控へ、今や政爭に沒頭して居る時であるからそれが濟むまでは、海軍問題については身を入れて研究する余地はないと思はれる、日本では已に首相、海相の海軍＝軍縮＝に關する意見の發表があつたが何處から見ても公正妥當で諸に軍縮精神にかなつてゐて比率問題などには公然關係がない、この公正無私の論を掲げて輿論を喚起したならば、英米をして納得せしむるに足ると信ずる、これを大局より見れば日米間に戰爭が勃發するとは毫も考へてゐない、日本側でもさうであるが米國側でもさうである、喧嘩の種子のないのに＝喧嘩＝する者もないわけである、日米間に戰爭を導くやうなことはなく、軍縮問題は何とか適正な話合がつくことと思ふ、何はともあれ、日本は東洋の平和を確立すべき使命を双肩に擔つて居る、のみならず日本は日本の皇道精神に基き、各國と經濟的提携を結んで全人類の福祉を増進することに全力を盡しつつあることを如實に世界に示すのが日本の大使命であると信ずるものである

海の魚雷に代はる陸の魚雷生る

地走爆雷の話

海の魚雷に代はる、陸の魚雷ともいふべき『地走爆雷』といふのがある

×

地走爆雷は、一口に言へば自動車のタイヤーの一輪だけ脱したやうな形のもので、全部は勿論鐵や鋼で出來てゐてタイヤーに當る部分が、强力な壓搾空氣を詰めこんだタンクになつてゐる、その中側に回轉輪があつて、其兩側に空氣の抵抗を受ける翼をつけてあり、壓搾空氣によつて回轉輪は非常な高速度で轉回すると翼の空氣抵抗による反動の力で輪体が逆回轉して、目標地點に走進するので、進行路の起伏傾斜の如何によらず、正確に敵陣地内に走進し自爆によつて防禦物の破壞や人畜に損害を與へるのが特徴である

×　×

自爆させるには、時間的に計算して爆發させるのと、目標に衝擊して爆發するのと二方法ある、城門の破壞等には最も有効であるが、これは用ゐる場合が割合に尠い、鐵條網の破壞や戰車の攻擊などには最も有力であると發明者の唱へるところである

×　×

最初走進させるには、簡單なる始走台があつて、その上に眞つ直ぐに立てて、狙ひを定めて走らせるのである、一たび走り出したら、著しいジャイロ性即ち運動慣性があるので、正確に而も山でも坂でもドンナ地形でもグングン高速度で目標に向つて進んで行くのである

×　×

これは專ら近距離に使用するもので、三四百米までは正確に走つて行く、大きさは直徑約四十五糎（一尺四五寸位）で重量は輪體だけで約七キロ五百グラム（二貫目）爆藥を入れて約十一キロ二百五十グラム（三貫目）位で、やがて歩兵が肩にかついで行ける樣にしたいと云つてゐる

英米空軍の擴張

大增員に大建造

英國は獨逸の再軍備、佛國の空軍充實に伴ひ今度、新鋭軍用機六百台を建造し、空軍五十個隊を增設、新に飛行將校二十と空軍人の大增員を行ふ空軍大擴張案を樹立した、米國陸軍省では總額三千萬弗の豫算を以て向ふ三ヶ年間に新鋭軍用機一千台を新造することに決定、マルチン及ライト航空會社に爆擊機八十台、發動機二百八十個の建造を命じたそうである、斯くて軍縮擬備となつてゐる

會商をして皮肉にも意義付けた

一萬立の塩水から一萬立のガソリンを作る

フランスのローエン町のアルベルト、サエルスと云ふ自動車機械師は最近塩水からガソリンを取る機械を發明した、同氏は「一立の塩水から一立のガソリンを、一萬立の塩水から一萬立のガソリンを又大海をガソリンの大海にすることが出來る」と發表した、此機械は貯水槽とパイプと電氣ストーブとより成り、貯水槽より來る塩水が一度パイプを通つて電氣ストーブに接するや忽ちガソリンに變ずると云ふ至極重寶な機械で同機械をもつて作らるるガソリンによりガソリンの大海原が出現するものと目下注視の的となつてゐる

革命前の—ロシア農民

ザバリスキー口演　關東軍司令部　小豆澤洸譯

歐洲大戰及革命前に於てはロシア住民の大部分は農民なりき、一九一四年には全人口の七五%は農民なりき故に其收穫せし穀物を以て全人口を養ひて尙餘りありたり、歐露に於ける若干の地方に於ては土地不足せしも而も彼等農民の生活たるや決して貧しきものにあらざりき、アレキサンドル二世の農奴開放後は農民も獨立せる經濟を確立せりニコライ二世の治世中農民は次第に富裕となれり、而も特種銀行の助に依り各農民は夫々土地を購入することを得たり、即一八九五年乃至一九一七年の二十二年間に四千ヂシャチーンの土地を購入せし次第なり即ち彼等は金を有せしを以て之に依りて新生活を營むことを得たるのみならず見ゆることを爲すことを得たり、尙西比利亞方面に移住せむと欲する者に對しては旅費は勿論各人に對して二百留宛の補助を與へたり

×

故に一九一六年の統計に依れば歐露に於ては一億七千二百萬ヂシャチーンの耕地は農民の所有に係りしが西比利亞方面に於ても大部分の耕地は農民自体の有に歸し居りし次第なり、而も之等農耕地は凡て國家を富裕ならしめ皇帝を幸福ならしむることに貢獻せり、ニコライ二世の即位の年即一八九四年の收穫高は二、〇五〇、〇〇〇封度而して一九一四年には三、六五七、〇〇〇封度に增加せり、此間ロシアは富裕となりしが就中農民及コサック尤も著しく又家畜も增加せり、ロシアの貿易は輸入超過せしも穀物のみは一九一四年の如きは一百萬封度も輸出せり、現在に於ては會計の上に於て而もチエルボーネッツの金額に於て多量に輸出し居るも事實は然らず現在チエルボーネッツは二錢又は三錢以下に相當す、卵の如きも以前には高價に外國に輸出せしも今はコルホーズに於て紙價にて取り上ぐる次第なり

×

牛酪の如きも高價に而も自由に賣却せり、即歐洲大戰中と雖も一當時は戰線に於ても又人口の增加しつつありし各都市に於ても多量に需要せしにも拘らず一之が賣知の量は增加するのみなりき、歐洲大戰中と雖も農民は益々往々富裕となれり、村落に於ても金貨が流通せり、之は穀物、牛酪等の口糧及各種企業等に從事せる勞銀の代償として得たるものなり、されど斯く蓄積せし處のものは凡てボリシエヴイキー及十月革命の嵐に依りて奪取せられたり、之等に關する正確なる統計を今入手せむとしても各都市に於ける圖書館の古き書類は凡てボリシエヴイキーに依りて燒棄せられたるを以て今茲に引用することは困難なり、兎に角斯の時代には國家の歳入も多く國富も大にして就中農民は富裕なりき、然るに今や共產主義者が支配をなすに至り一大變化を生ぜり、尙物價も革命前には豐富且廉價なりき、されば試に古老若くは隣邦に質問せば彼等が服地其他の布類を如何に廉價に購入し且如何に屢々新調せしかを知るならむ

×

ボリシエヴイキーは以前には文盲者多數ありたる旨屢々高言す、然り以前には現在以上の文盲者ありたることは事實なり、されど吾人は質問せむと欲す、即ちボリシエヴイキーは如何に速に文盲を退治せしや又如何に速にロシア住民を文化に導きたりやと、一九一四年には大學には四萬の學生、中等學校には七十三萬三千人の生徒、小學校には七千萬人の兒童ありたり、而して農民の子弟も通學し且如何に遠隔の地にも學校ありたり、之れ偽らざる事實なり、故に農民出身の勞働者ありたるは勿論農村より都市に其子弟を送り中學大學及技術專門學校等に學ばしむる者多數ありたり、故に農村より數萬否數十萬或は數百萬人のインテリゲンチャ出でたり、されば何を以て革命前の農民の慘態は悲慘なりと謂はんと欲するか、革命前の農民が、不幸なりし冒瀆ぶれ共凡て當らず

現在農民の情況は如何？現在はコルホーズの制度施かれ法の上に更に法を設け人民を搾取しつつあるにあらずや、不幸なるロシアの人々よ！

×

純粹にロシア人の有するものは營養物と消耗とのみにして他には何物もなし、以前には年老ひたる祖父も居り孫達に取りまかれて一家團欒の生活を營みたるにあらずや、呪ふべきロシア革命以前には斯く樂しき生活を爲したるのみならずロシアを文化に導き農民を幸福ならしめたるものは主として農民自身の力に依りたるものなり

特輯映畫物語

蛇魂

「女ターザン」改題

こ　こは、メキシコ奥地の大ジャングルである。鬱蒼たる密林にさへ切られて、太陽の光りは容易なことでは大地へはとどかない。濕つた密林の底は、落葉が三尺も四尺も積重なつて永遠にじめじめとして、濕地をこのんで住む、毒蛇やその他の氣味の悪い、兇暴な爬虫類が、うようよととぐろをまいて居るのである。また密林の大部分は、死の泥沼で、そこには狂猛な鰐が群をなして、獲物をねらつて居るのである。密林の奥には、また數々の野獸が、その猛惡な野性のまゝに絶えず食ふか食はれるかの死の闘爭を續けて居るのである。このジャングルの中で、ギャングの一味のやうな、兇暴さをたくましくしてゐるのは、南米特有の猛獸、マウンテンライオンである。豹の習性を持ち、ライオンの狂猛さを持つた、この南米の虎とも豹ともライオンともよばれる一群は蠻地の上といはず、斷木の上といはず、縦横無盡にかけまわつては、ほう食を求めてほう吼するのである。●

文　字通り、神に見捨てられた蠻地であつたゝ、文明の光からは遠くかけ離れた、生きる爲めの、野獸同志の死鬪があるばかりであるかのやうに見えた。しかし、さういふ觀察は間違つて居たのである。何故なら、この蠻地のなかでたつた一ケ所だけ、文明の光がさすところがあつたからだ。リオ・グランデ河の上流、三角洲をかたちづくるところ——熱帯樹を無造作に組合はせて木の葉で屋根をふいたまるで蠻人の住家でもあるやうな、掘立小屋が一つ、濕地を除けた密林の奥に、太古の遺跡のやうに立てられて居るのだ。遠くから、ちよつと見ただけでは、これが、人間の住む家とは、何うしても受とれないのであつた。●

家　の中には、しかし人類が住んで居たのだ、しかも、白い肌の男と女が——男は廿歳位の、隆々たる筋肉の盛あがつた、たくましい若者であつた。彼の眼は碧く澄んでは居たが、蠻地で育つた烈々たる野性が溢れて居るやうに見へた。女は四十歳位でもあらうか、打見たところ、この若者の母親のやうであつた。何處か、氣高いところのある夫人であつた。●

丸太を組合はせて作つた机の前に若者は座つて居た。それと向ひ會つて、母親は嚴肅な顔をして座つて居た。机の上には、一冊の書物があつた。云ひもなくそれは聖書であつた。母親は、その息子に聖書を教科書として、讀み書きを教へて居るのである。

しかし、若者の血管の中には蠻地の狂暴さが溢れて居て、學問などをする氣はなかつたのである。

「お母さん、一體、僕は何の爲めにこんなことをしなければならないのだらう。こんなものが何の役に立つのだ——魔法使ひの呪文でもないこんな字が——」

若者は呪はしく叫ぶのだ。蠻地の暗い狂暴な天と地より知らないこの若者、ボッブにとつては、それは無理もない抗議であつた。

「ボッブお前は、人間なのだよ。しかも立派なアメリカ國民なのだよ。こんな野蠻な土地で育つたのだから何も知らないのも無理はないけれど、お母さんの言つて聞かせた、文明世界の話しは爽してうそではないのだよ」

母親は悲しげに溜息をついた

「それなら、何故、その文明世界に、僕達は住めないのだ——」

「それには譯があるのだよ——深い深い譯があるのだよ……」

解説　これは米國アイデアル映畫社の特作ジャングルを背景とした猛獸映畫であるが、從來の猛獸映畫の記錄的價値の上に更に一貫したストーリーを加へたのが特徴である、殊にメキシコのジャングルを背景としたのが、今までのアフリカやボルネオあたりの猛獸ものと異つて居て、その點でも興味のあるものがある、獸優はかつてユニヴアーサルの猛獸物をとつて居たチヤールスハッチンソンだけに物凄いスリルを十分に盛つてある（大同商事映畫社提供）

「どういふ譯なんだい、お母さん——」

若者は、好奇の眼をかゞやかせた。

と、その時、密林の奥から、ヒューッと、高く吹く口笛の音を耳にすると、ハリーはとつさに、脱兎の如く、小屋の外へ走り出した。

息子の走り去つて行く後姿を見送つて、母親は悲しげに、眼を伏せた。

「あゝ、ほんとうに、妾が間違つて居たのだわ……」●

落　葉を踏みしだき、雑草をかき分けて、ハリイは、密林の中を、駈けつゞけた。

「ア、ア、アー——」

彼は、獣のやうな叫び聲をあげた。すると、密林の彼方から、かん高い口笛が聞こえて來る。

「オ、オー——、ア、アー——」

ボッブは叫びながら、雑草を掻き分けて、口笛の主を求めた。

「カーマ……何處に居るんだ——」

と、彼方の草叢の中から女の裸の半身がちらつと見えた。

「おゝ、カーマ……」

密林のギャング・マウンテン・ライオンのやうな素速さで、ボッブは、女を追つた。女は長い髪を、振り亂して逃げた。

「カーマ……」

ボッブは、女の髪の毛を摑んで、ぐつと、引き寄せた。女は大ぎように悲鳴をあげると男の腕の中に縋れ込んだ。息つて、ぜいぜい呼吸をつく、女の胸や腰が大きく波を打つて居るのだ。

「ヒ、ヒ、ヒ……」

女は妖しい叫び聲をあげると男の身體にしがみついて來た。薄暗い密林の木の葉の床の上に、眞白な男の肉體と、茶褐色の女の皮膚とがかたまり合つて、一つの奇怪な生物のやうにうごめいて居た。●

話　は十年の昔にさかのぼる。アメリカの百萬長者といはれて居るハリー氏は、その息子を熱愛してゐた。妻のエヂスも勿論、我子には目がなかつたが、しかし、夫婦の仲は、どうも圓滿ではなかつた。有閑階級の社會にあり勝ちな、そして家業に專心して家庭をかへり見ることの少ない夫と、夫の愛を獨占しようとして、必要以上に夫の自由を束縛したがる妻と——そこに夫婦間の爭ひが生れて來たのであつた。互に愛し合ひながら、憎惡の眼で見合つた。當然爭ひは法廷に持ち出された。離婚訴訟である。ところが裁判の結果は夫が勝つた。子供は夫が引きとることになつた。裁判にまけたエヂスは子供を取られるのがつらく忠僕のブルークとはかつて子供をつれて夫の家をのがれ出た。さうと知つた夫は自動車で後を追つたが、つひに妻子の姿を見失つてしまつたのであつた。我子を夫に奪はれぬためには、エヂスは恐ろしい蠻地へ隱れることもいとはなかつたのである。かうして國境を越えて、メキシコの奥地へ入りこみ、人跡未踏の大ジャングルの奥深く姿を隱してしまつたのである。夫は妻子の行方を莫大な懸賞をかけてさがしたけれど、すべては水泡に歸してしまつた。

・スタッフ・
原作……キャプテイン・ヤコブ・コン
脚色……アドリアン・ジヨンソン
編輯……ローズ・スミス
撮影……ウイリアム・タムソン
錄音……ジエー・エス・ウエストモアランド
總指揮……チヤールス・ハッチンソン

・配役・
エヂス……バーバラ・ベツドフオード
ハリー……ロバート・フレイザー
ボビー……モーリス・マーフイ
ボビー（幼時）……ハーリイ・グリフイス
ブルーク……エドウイン・クロス
キング……スネイク・キング
カーマ……ステラ・ザルコ
オードレー……オードレイ・トーレイ

エ　ヂスと其子と忠僕ブルークとは一頭の熊を飼ならした。この熊は犬よりも忠實に主人につかへ常に三人のために、食料を運んで與れたし、マウンテン・ライオンやその他の猛獸毒蛇の毒牙から、守つて居て與れるのであつた。

・寫眞說明・（上）モーリス・マーフイのボビイとステラ・ザルコの蠻女カーマのラヴシーン（中）水浴するカーマ（下）探險隊の鰐狩り、カットの寫眞は珍らしい双頭の蛇

母親のエヂスは、成長して來るにつれて、蠻人の女にたはむれたり、猛獸と死鬪したりする我子の浅ましい姿を見ると、漸く自分のとつた行動が間違つて居たことに氣がついて來たのだつた。

しかし、今更、何うして、文明社會に歸れることが出來やう。このジャングルを出るために何の武装もなく長い旅をつゞけることは、自殺すると同じことであつた。

「あゝ神様、可愛いゝハリイは日毎に野蠻人になつて行きます。ボッブを御救け下さい——」

神に見捨てられた叢林の中から、神に訴へるのだ。

「ボッブよ、カーマのやうな野蠻な女と遊んではなりません。あれは、お前とは違つた生物なのです。あれは人の形をした蛇です。蛇の魂を持つた野獸です——」

と、いくら言つて聞かせても、ハリイには、母親の言葉を信じることが出來なかつたのである。

或　る日忠僕のブルークは食料を得るために小屋を出て、ジャングルの奥へ、分け入つて行つた。一歩、小屋を出ればそこには死の危險が至るところに待受けて居た。猛毒を持つ双頭の蛇が居る、河には鰐の群がゐる。餓へた山猫、そして、密林のギャング團、マウンテン・ライオンの群……だが、剛勇無双の護衛兵の熊は、いつもこれらの猛獸を倒して與れたのだ。

ブルークが出かける時には勿論この忠實な熊をつれて出たのであるが、熊は途中で蛇にたわむれて、道ぐさをくつて居た。そのひまに、恐ろしい悲劇が起きたのだ。木の上から、ブルークをねらつて居たマウンテン・ライオンの一頭が、矢庭に、襲ひかゝつて來たのだ。恐ろしい死の闘爭——だが、無力なブルークが、どうして、狂暴なマウンテン・ライオンの牙をさけることが出來やう。ガブリと喉をかみさかれると、それつ切りもう聲が絶えて居た。ブルークの斷末魔の叫びを聞きつけた熊は、死に物狂ひでその場へかけつけて來ると、猛然として主人の復讐のために、マウンテン・ライオンに襲ひかゝつたのだ。密林のギャングは、鋭い爪と牙とで、熊の胸をさかうとすると、熊はまた、彼の重量選手的パンチと、齒で立ち向つた。世にこれ程物すごい死鬪がまたとあるであらうか——だが、結局さしもの密林のギャングも熊の敵ではなかつたブルークの仇は討つたが流石に疲れ切つた熊は、主人のなき骸の前に悄然と首をたれるのだつた。●

丁　度、その頃此密林へアメリカの探險隊オードレー氏の一行が此附近へやつて來て居た。物凄いマウンテン・ライオンと、熊の死鬪の叫びを聞きつけるとスワとばかり駈けつけて來てこの勇ましい蠻地の仇討を目のあたり見たのだつた。

「凄い——全く凄い。こんな素晴らしい熊があるものかな——それにしてもおゝ、人が死んで居るではないか——」

駈け寄つて抱き起して見たが勿論息は絶えて居た。一行はそこで熊の案内でエヂスの小屋を訪れたのだつた。そしてそこで計らずも、聖書の中から當時の離婚事件の新聞の切り抜きを發見した。

「おゝ、これこそ、ハリイ氏の奥さんと息子さんだ——」

一行は十年前のあの有名な妻子の失踪事件を思ひ出した。探險家からの電報で、ハリイ氏は、取るものも取あへず、飛行機で密林へ飛んで來た。そして、十年目で、父は我子を、かたくかたく胸に抱くことが出來たのだつた。同時にいまは、すべて反省した良人と妻とは、この蠻地の奥ではじめて心から和解することが出來たのだつた。

新版江戸八景（第一回上映）

行友李風外四氏合作　[illegible]銀平他二氏畫

〈三〇〉旗本くづれ　四三

瀧川駿　（五）

自若すは江戸、香腦鬪の悪黨二人が、お類を拐かしてゐた。

「兄哥飛ばそうか？」

と、龜が甚泥に。

「合點だ！」

と、それに應へて——。

「どうぞ、お赦し下さいませ」

お類は、それへ兩膝をおとして跪てゐる——だが、そんな事に頓着するやうな人柄ぢやない。

「お、娘ッ子すこしは辛からうが、今に嬉しくなるんだ！」

と、高飛車に。——お類を、まるで品物扱ひにして。

「お、こつちへ來な。」

と、龜が提へて行かうと。

「お赦し下さい。」

お類は、怖さの爲に、必死の聲を上て逃げ出した。

「女、逃がしてなるものか！」

と龜が追つかける。——か弱い娘に、荒くれた男だ、到底、同一の理論ぢやなかつた。直ぐに、お類は龜の爲に捕まつてしまつた。

「何になさいます」

とお類がおろおろ聲。それを、グッと鷲掴に、龜が押へて、

「なア兄哥、當味い酒にありつけるぜ」

と、にやり。

「おつ、いけねえ！」

甚が突然、頓狂な聲を上た。

「どうした。」

と、龜が、のつそり覗き込むのを、甚泥が、

「あれ見ねえ」

と、彼方を眼で指た。

「おや？　いけねえ。」

「ひつ擔いで逃げろ！」

峠の彼方から左近兒が、悲鳴を聞いて驅つけたのだ。お玉から次郎太に宛た手紙を懐にして、いまそれを屆けに行く途中だつたのだ。

「兄哥、面倒だ。」

「逃げろ！」

「合點だ。」

と、甚と龜とは、お類の身體を手取足取に。——

「あれつ！」

と、きぬを裂くやうなお類の悲鳴が山一ぱいに響いた。

「待てつ！」

と、左近兒は焦つてゐるのだが碎れない雪の山路に、歩行が自由ではないらしい——。

甚と龜とは、雪のあひだを、飄た足どりで、——谿を越、峰を渡つて、お類をかつ浚つて行く。

「待てつ！」

と、左近兒は、崖の上まで來て大聲で——。

「待つて堪るかい。」

と、相手方は益々急いで行く。

その距離が、だんだんと遠ざかつて行つた。お類の悲鳴も、——ずうつと遠のいて行つた。

◆◆◆

その日の夕ぐれ頃、木曾街道を江戸に向つて、急いで行く山駕一挺。——その前棒は龜の野郎で、後棒は甚泥だ。

「兄哥、近頃にねえ、好い鴨だねえ——」

と、龜の野郎が、甚泥を振返つてにやり——。

「うめえ玉だが、一生のまゝとアもつたいない——。」

と、甚泥が惜しそうに。——

「致方がねえや。——手入らず水入らずと云ふのが寶物だ。——そのまア吉原へ三百兩で沈めて、その初ッ花が欲しけりや、その突き出しの晩に、一と晩、たんまり可愛がつてやるさ。」

と、龜の野郎は、諦らめか好いやうだ。だから、駕籠のなかの者を、誰だ、と訊かなくても、分つてゐる事でお類だ。

十一月廿六日　舊十月二十日　月曜　辛丑　大安　満　危宿

- 一白の人　財力以上の計畫は見合はすが安全又病注意　乙と辛と乾が吉
- 二黒の人　毒にも藥にもならぬが如き日和合專一たれ　辛と丑と寅が吉
- 三碧の人　物事手堅くすれば不況をも切り拔け得べし　甲と丙と丁が吉
- 四緑の人　風浪に弄ばさるゝ舟の如し必死の努力肝要　甲と乙と丁が吉
- 五黄の人　擧手投足忽かせにせず萬事愼重に處理せよ　庚と辛と丑が吉
- 六白の人　草木根張りて春陽の氣を催すを待つが如し　申と庚と癸が吉
- 七赤の人　他人の世話事に身の詰りを生ずることあり　壬と癸と寅が吉
- 八白の人　多少の苦勞は有たれど大體成功の年を終る　申と庚と辛が吉
- 九紫の人　信義厚ければ長上の信用引立を受くる吉日　巽と申と寅が吉

水性カベ塗料
半油性水カベ塗料
ピース
エマルス
御申込次第カタログ進呈

いこど
無情を感ず
罍粲の齒!
タバコのみ
齒磨スモカ
煙草化粧品藥店ニアリ
685

酒は白鶴
料理は淸渺
川魚料理
うなぎ蒲焼
鷄の水たき
食道樂 淸渺
吉野町二丁目
電三一五六番

藥石
靈氣石
リチウム含有
內服用 浴用
主治病名
一神經痛 一動脈硬化 一生殖器病 一胃腸病 一リウマチス 一皮膚病 一痔疾
新京川町
新石洋行
電話二四六二番

カフェーミカサ
御商談、御會談、御宴會に御利用を
●宴會は六十人様迄
▼朗かな
▼美人揃ひの
大ホール

クラブの惠みに
健かな眠り

甘栗
栗羊羹
高級栗實
小包便として、
甘栗を內地送りの
取扱を致します
御利用の程を
新京吉野町二丁目
甘栗太郎
電話二八八七番

夢禪茶語録 (四)

大正寺語　甲斐正英

二、食事…

次に獨立の食事に就いて考へて見やう…

『腹が空くと…』

食物を欲求する…

『御飯を食べる…』

日々三度づゝ同じ欲求を繰り返してゐる…

『何の爲め！』

と云へば笑ふだらう…

『腹が空いたからよ…』

とね！

『何故に食ふか？』

と問へば

『働く爲めに食ふ…』

とも答へるかもしれん…

『食ふから…働く！』

『働くから…食ふ！』

と古來よく議論する問題だが…私は今茲でそんな議論を目的とはしない…私は私の信念を聞いて戴けばいい…

『食る様に食を求める心！…』

與單に

『空腹を滿たす爲なり…』

と、かたづけたくない…

『何故食ふ？』

私は答ふ

『生きたいからです…』

『死にたくないからです！』

本然の欲求！必死の願なのです、食事輕んず可らず、心して箸に向ふ可きだと思ふです

三、老人と寺詣…

次に老人には皮肉に聞えるかもしれないが本當だから仕方がない…

『老人に番茶…』

まだある

『老人に寺詣…』

何方の老人もよく御寺に御詣りになります

親孝行な様は云ふ…

『お父サン(お母サン)！今日はお天氣はよし風はなし…ほんにいいお天氣ですから氣ばらしにお寺さんにでもお詣りしておいでなさい…』

とね！そうするとお父さん…いい氣持になつて…

『そうさなア！どれどれ嫁の云ふ様にお寺にでもお詣りして御生をお願ひ申そうかなア…』

ひよこひよこと嫁や息子等に送り出されてお寺詣りされます、結構な心懸けです…私の皮肉はここから始るのです

『佛前に平伏してお珠念をつまぐつてお念佛お稱名されるこの老人の心の中に』

遠慮なく解剖してみます…

『ほんとうに信心があるかしらん？』

『ほんとうに佛様が有難いのかしらん？』

『老人になると十人一律に信心家？になるが…』

『何故？だらう…』

私は思ふ！

『老人が信心家になる筈だ…』

と…

『何故だ？』

『老人は信心せずにゐられないのだ！』

『何故？』

『老人は何時も目に見えない或る者に追ひ迫られてゐるからだ！』

『目に見えない或るもの…とは？』

『曰く「死！」だ…』

『佛様が有難くてではない！』

『死の恐懼に耐えきれず…』

『佛前に念佛稱名して…』

『一分間でもこの「死の恐懼」を忘れやう…逃れやう…と焦るのだ！』

『所謂！お縋りだ!!』

人は或る一ツの恐懼！哀愁におそはれる時！

『自己の力のみじめさ…』

を知る…そして

『或る覺者…偉大なものに取り縋がらうとする…』

丁度…子供が喧嘩して自分が弱いと思ふと親の力を借りやうと泣いて訴へる様に…老人の念佛がそれです…

『眞に佛様が有難くて…』

信心する老人は怕らくないと思ふ…

『死期が近づく程…老人のお寺詣りは頻繁になる…』

當然な心理だと思ふ…

『不治の病人が嫌な藥を寧ふ様にして服用するのも…』

『老人が稱へたこともない念佛を念へるのも…』

畢竟！

『死の恐懼から逃れたい！一念からです…要するに…』

『生きたい！』

『死にたくない！』

とする心の顯れです、人間の偽らぬ赤裸々な姿です…以上で人間が如何に

『生の欲求！』

に熱烈であるかがお解りになつたことと思ひます…

『人間最後の目的』の中

『無限生の欲求』

は以上で終りと致します…

日本最初の流線機關車 近く阪名間試運轉

【神戸國通】十二月一日から神戸名古屋間に御目見えすることとなつた超特急つばめを牽引する日本最初の流線型機關車は神戸で製作中であつたが廿三日完成したので愈々來る廿七日ボギー車五輛編成にて大阪、名古屋間を公式試運轉をすることとなつた、出來上つた流線型機關車は前から見ると潜水艦そつくりでいかにも力強い感じを與へる、この流線型機關車がやがて東海道全線を疾驅する日も近いであらう

航空機操縦生募集

遞信省航空局では昭和九年度において航空機操縦生八名を募集することとなつたが、志願者にして陸軍委託航空機操縦生志願者は來る十二月二十一日迄、海軍委託航空操縦生志願者は昭和十年一月一日から同卅一日まで夫々願書を航空局に提出することになつてゐる、なほ志願者資格は獨身者にして陸軍委託志望者は大正三年十二月一日から同六年十一月三十日までに出生の者、海軍委託志望者は大正四年十二月一日から同七年十一月三十日までに出生の者で、詳細は東京遞信省航空局に問合せのこと

ラジオ

二十六日(月曜)　新京

午前の部

六、五〇　ラヂオ體操(東京より)
七、一〇　ラヂオ體操(滿語)
八、三〇　經濟市況(東京より)
八、四五　天氣實況(日滿語)(奉天より)
九、三〇　演藝(レコード)(滿語)
一〇、〇〇　料理獻立(日語)(奉天より)
一〇、四〇　經濟市況(東京より)
一〇、五九　時報(東京より)
一一、〇一　經濟市況(東京より)
一一、三〇　ニュース(大連より)(滿語)
一一、四〇　ニュース(東京より)

午後の部

〇、〇〇　經濟市況(大連より)
〇、一五　ニュース(日語)
一、〇〇　演藝(滿語)　鶯春院　月紅
二、〇〇　經濟市況(大連より)
二、二〇　家庭講座(滿語)　首都警察廳保安科長　王肇澄
二、四〇　日用品値段(日滿語)
二、五〇　經濟市況
三、二〇　ニュース(東京より)
三、三〇　ニュース(日語)
三、五〇　經濟市況(日語)
四、〇〇　ニュース(鮮語)
四、一〇　ニュース(滿語)
四、二〇　滿語講座　高宮盛逸
四、四〇　講師　日語講座
五、〇〇　同　子供の時間(哈爾濱より)　近藤喜助(奉天より)
五、三〇　氣象通報(日語)
五、三五　番組豫告　氣象通報(滿語)
六、〇〇　番、豫告　ニュース(東京より)
六、二〇　政府公報(滿語)
六、三〇　講演(東京より)　海軍々縮會議と帝國の立場　陸軍大將　荒木貞夫
七、〇〇　長唄(東京より)　吾妻八景　唄　吉住小三蔵　同　吉住小僊次　同　吉住小桃園　三味線　稀音家六治　同　稀音家三郎助　上調子　稀音家廣助
七、三〇　獨唱(大阪より)　有馬大五郎　伴奏　岡田九郎
1 歌劇「魔笛」よりタミノの歌　モーツアルト作曲
2 樂劇「ばらの騎手」よりイタリー人の歌　リヒアルト、シュトラウス作曲
3 朝鮮の曲中　尾高鮮之助作曲
4 歌劇「アフリカの女」よりヴアスコデイガマの歌　マイカベール作曲
5 「サレウイツチ」ボルガの歌　レザール作曲
6 今宵こそは(主題歌)　ヒトリヤムスキー作曲
七、五〇　講談(東京より)　一聲の宴　貴井馬琴
八、二八　時報(東京より)
八、三〇　ニュース(東京より)
八、四五　ローカルニュース(日語)
八、四五　國民の時間(滿語)(奉天より)　關於滿洲の棉花事業　滿洲棉協和會理事　奉天省公署實業廳長　徐紹卿
九、一五　演藝(滿語)　鶯春院　美娟
九、三〇　ニュース(滿語)
九、四〇　ニュース(英語)
九、五〇　ニュース(露語)(哈爾濱より)

ニツポンシ タロウ 忍術の巻

(1) ナカヨシテ、ヨンデミルト、ムカシノセキショアト、コレヨリサキヘスヽムベカラズ、コレニソムクトキハ、イノチニカヽハルベシ、トアル。タロウハコレヲヨンデ…

(2) ヤガテ、ヤツテキタノハタロガネノセンノマエ、…

國際花壇 電話五九五九番 新京ミカサ町(晝窓舍隣)

文藝 科學

小話四題

身の上相談

之は外國の新聞社の話「私は今、或る平凡な女と相愛の仲です。所が最近、素晴らしい美人で、しかも金滿家の未亡人から結婚を申込まれてゐます。記者先生どちらと結婚したら良いでせうか。是非御回答を……」

記者の答「それは一日も早く、其の平凡な女と結婚しなさい。そして美人で金滿家の未亡人の住所と姓名は私宛で至急御通知下さい」

專門科

近頃のお醫者さんは悉く結核專門とかく專門ばやりである。之も外國での話、或る胃腸專門の大家の所へ

「先生、うちの女中が昨夜から腹痛で苦しんでゐます、急いで御往診を……」

先生「女中？……失敬な、それは女中專門科へ行きなさい」

錢湯の美人

甲「風呂屋の番臺に、こんど素敵な美人が來た。どうだ一風呂浴びに行かないか」

乙「よしッ、行かう、あゝ一寸待つて呉れ、いま顏を洗つてから行く」

死は恐ろし

科學者「あゝ恐るべき事だ、僕の研究によると地球はあと一億年經つと、氷の如く冷却して、凡ゆる生物は死滅せねばならぬ、あゝあゝ」

妻君「エッ、何ですつて、一億年？まあ、よかつた、私は一萬年と聞いてどうしようかと心配しましたよ」

醫療界種々相

選擇が第一 淋疾の藥品と療法

今の世には淋疾に對する藥品及び療法の數は實に多い。その內には、かなりイジチキ的のものがあり、甚だしいのに到つては、推奨してゐる專門醫自身が全然知らないと云ふ鬪るペンなのがある。ところが、肺病とか性病患者の心理狀態は不思議なもので、假へば

淋病 に罹ると、先づ間に合せに、內服藥を買つて見る、一週間も經つて、まだ良くならないと今度は他の藥を買ふ、それでも駄目だと、ヤット醫師の下にかけつける。其時は既に遲く病症は相當惡化してゐる。從つてどんな名醫でも一週間や二週間では全治しない。一ケ月も通院して、未だ未だと言はれると、辛棒しきれず、又自宅療法に逆轉する。其間にはつひ

不養生 もするし、病氣はいつ治るやら、結局、あの藥、この療法と迷ふのが、先づ此の病氣の通り相場ぞ。それで淋病患者のある限り、どんな藥でも療法でも、淋病に効くとさへ廣告すれば賣れますとは全く面白い世の中である。さて淋疾の

藥品 と療法は何が良くて何が惡いかとなると仲々六ケ敷い問題である。苟くも療法と名を出し藥品と銘を付ける上はまさか無效有害ではあるまい……時にはそんなものもある相だが……すると結局、どれが果して發賣元で宣傳する通りの効力があるか、無いかを

解剖 するのが一番近道らしい。即ち看板に僞りありや否やが先決問題である、此意味でズット調査研究して見ると僞りありと思はれるのも相當ある。否相當どころか、看板通りは先づ少いと云つて可いだらう。で之が看板と違ひますと數へ始めたら、不幸にして五本の指しかない兩手では迚も足りそうもない。それぢや看板通りは、となると將に曉の星に似て

寥々 たるものだが、其の內で先づ之ならと思はれるのは友田製藥のウラルゴールであらう。淋疾が內服藥のみで簡單に全治するなら、實に喜ばしい事であるが、現在の醫學界では、堂々太鼓判を押せるものは先づ無いと言つて良いだらう、從つて醫師は、種々の技術的療法で全治せしむべく苦心するのであるが、その技術的療法が、また一定してゐない。効果適切なものは技術的に困難を伴ひ

技術 的に容易なものは効力薄く各大學の專門醫すら、之には相當苦心してゐるのだが、確然と判定し得るものは未だ無いらしい。

そこに着眼したのが友田のウラルゴールである。ウラルゴールは色素と銀とを化合した粉末を、ゲラチン製の管の中に入れたものである。之を尿道若しくは

膣に 挿入すると管は直に溶解して、內容の粉末が尿道、或は膣粘膜に密着して內分泌液のために徐々に溶解しつゝ浸潤殺菌作用を營むのである、特に慢性症に對しては、一度ウラルゴールを實驗した專門醫は異口同音に其好成績を推奨してゐる

病巣 の根源に、直接的の殺菌作用が數時間持續する、しかも技術的に何等の不安と危險が無い、成程之は淋疾治療上、合理的である。從つてウラルゴールの廣告に「最近專門醫がウラルゴールを賞讃推奨する向き多く」とあるのも僞りならぬ事實である。尙面白い事には使用法が簡單なので、專門外の醫師が大分使ひ始めたとの事である。次ぎに値段の點であるが

豫防 用の短管三本入が七十五錢。慢性、再發初試用品の短管十本入が二圓。慢性、再發用の中管十本入が二圓五十錢。慢性淋疾用の長管十本入が三圓である。淋病の藥品や療法器には安いのは一日分十錢から高いのは二十圓三十圓などの法外のものもある、何が之をそうさせるか、安いので飛びつかせる方法、後は野となれ山となれで一時限りに貪ぼり取る手段さすがに現代の世相そのまゝである。

之に就て發賣元では「値段が高いとか、安いとかは結局・効力が決定する問題だと思ふ。ウラルゴールを

大量 に使用する病院に對しても、此の値段で納入し、その病院も喜んで使用してゐる點から考へても、ウラルゴールの値段が効力と比較して決して高いものでなく、それに製造技術上の苦心、原料の精選等からすれば寧ろ安價であると信ずる」と語つてゐた。尙ほ「ウラルゴールを淋疾の

豫防 用として專門醫が患者に携帶せさる向が大分殖へて來たのは、病氣は治療より先づ豫防に。との標語を一般に認識させるべく非常に有效である。從來の淋疾豫防法は、其の直前、若しくは直後に行ふ必要があつたがウラルゴールは短管一本を二十四時間以內に挿入すれば豫防の目的を達し淋毒感染の不安を除き得るのであるから

近代 人が歡迎するのも當然である」と。品物が良いから、必ず最後には勝利を獲る。其の確信の下に「淋疾の治療と豫防にウラルゴールあり」を旗幟として堂々陣を進めて行く發賣元の意氣込には凄じい眞劍味がある。兎角、性病や肺病にはインチキ療法が多い世の中に、友田のやうな一流藥業家が、ウラルゴールの如き優秀藥を提供してゐるのは、凡ゆる意味に於て喜ばしき一現象である。

地球の年齢

地球の年齢に就いては古來種々の說がなされてあるが、碩學ケルビン卿は、地球の冷却の關係から推測して、地球の年齢を二千萬年より四千萬年と斷定した學說を發表して一世を驚嘆さしたが、最近に於ける自然科學の進歩、殊にラヂウム放射の研究でケルビン卿の學說は解消された。ラッセルと云ふ學者は、地殼中に含まれるウラニユームと鉛との割合から、地殼の年齢を八十億年と見積つた。この年齢の推定は、今日のところ最も地球を大きく見積つた物である他に放射能物質の研究から約九億年といふ學說もあり、また海の鹽分の總量から海の年齢を論ずる學者は、八千萬年から一億年などと云つてゐる。

然し、地球の年齢などは實驗的に證明できる問題でないから科學の域を脫したものと言はねばならぬ。故に地球の年齢に就て學者が種々の說をなすとしても結局は盲が象を撫する範圍を出ないのである。